

(地歴) 科 授 業 シ ラ バ ス

科目名	単位数 (標準単位)	学科・学年・学級
歴史総合	2単位 (2)	学術探究科・芸術科 1年1～6組

1. 学習の到達目標等

学習到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		
使用教材・副教材等	歴史総合 近代から現代へ (山川出版)	学習形態	一斉授業 グループ学習

2. 学習計画

学期	月	学習項目 (単元名等)	学習内容	考查
一 学 期	4	歴史の扉 ①歴史と私たち 日本と洋菓子 ②歴史の特質と資料 台湾における砂糖の生産 近代化への問い 1 交通と貿易 / 2 産業と人口 / 3 権利意識と政治参加 や国民の義務 / 4 学校教育 / 5 労働と家族 / 6 移民	①身近な事柄が、時間的な推移や空間的な結びつきのなかで歴史と結びつきをもっていることを理解する。 ②私たちの生活に関わる制度や習慣について分析する際に、歴史的に構築されていることをふまえることが大切であることを理解する。 ①資料にもとづいて歴史が叙述されていることを理解する。 ②資料の性格をふまえ批判的に読みとることについて理解する。 ①交通と貿易に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ②産業と人口に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ③権利意識と政治参加や国民の義務に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ④学校教育の変化に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑤イギリスや日本の労働と家族に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑥アメリカ合衆国への移民や、日本からの移民に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。	中 間 考 査
	5	1 結びつく世界 1. アジア諸地域の繁栄と 日本 2. ヨーロッパにおける主権 国家体制の形成とヨーロッ パ人の海外進出 2 近代ヨーロッパ・ アメリカ世界の成立 1. ヨーロッパ経済の 動向と産業革命 2. アメリカ独立革命と フランス革命 3. 19世紀前半のヨーロッパ	① 16世紀にはアジア各地で大帝国が成立し繁栄していたこと、同時期にヨーロッパ各国がアジアに進出し、世界的な規模で経済が発展していったことを考察する。 ②東アジアに軍事政権が成長し、清や江戸幕府が成立したこと、そうした政権の統治法や経済成長について考察する。 ③琉球とアイヌの役割に留意して、江戸時代の日本の商品生産や対外貿易の特徴を理解する。 ①ヨーロッパで成立した主権国家と主権国家体制について、その特徴を理解する。 ②中世に支配的であったカトリック教会の改革の動きである宗教改革の考え方や影響について考察する。 ③ヨーロッパ人の海外進出について理解し、その影響について考察する。 ①産業革命にいたるヨーロッパ経済の大きな流れを理解する。 ②産業革命によるヨーロッパ各国内の変化や、世界的な影響について考察する。 ①七年戦争の勝利後におけるイギリスの北アメリカ植民地の拡大と変遷を理解する。 ②アメリカ独立革命とその理念を理解し、その後の世界に与えた影響を考察する。 ③フランス革命の経過と革命の成果を理解し、世界におよぼした影響を考察する。 ④ナポレオン戦争の経過と、ヨーロッパにおける変化を理解する。 ①ウィーン会議の内容とウィーン体制の特徴を理解する。 ②自由主義と1848年にヨーロッパでおこった一連のできごとを理解する。 ③ナショナリズムの特徴とイタリア・ドイツの国家統一への動き、フランスの二月革命後の国内状況、イギリスの諸改革	

<p>二 学 期</p>	6	4.19 世紀後半のヨーロッパ	<p>などを理解する。</p> <p>④資本主義の対抗理論として社会主義がうみ出された背景について考察する。</p> <p>①クリミア戦争の概要をとらえ、その経過や重要な点を理解する。</p> <p>②イギリスとフランスの国内状況をとらえ、対外政策の概要を理解する。</p> <p>③イタリアとドイツの統一国家形成の過程をとらえ、時系列にそって理解する。</p> <p>④ビスマルク外交について、その基本方針を理解し、具体的にどのような国と同盟関係が結ばれたのかを考察する。</p> <p>⑤この時代の国際的諸運動の進展や文化・科学と社会の変容について、具体的な例をあげながら考察する。</p>
		5.19 世紀のアメリカ大陸	<p>①「新大陸」発見以降、多くの人々が大西洋を渡ってアメリカにわたった理由と経過を理解する。</p> <p>②ラテンアメリカ諸国が、スペインやポルトガルの植民地から独立を達成した経緯を理解する。</p> <p>③独立達成後のアメリカ合衆国が、領土を西方に拡大していった過程を理解する。</p> <p>④合衆国史上最大の内戦である南北戦争について、その原因と経過を考察する。</p> <p>⑤南北戦争後、法的に平等な権利が認められたにもかかわらず、黒人への差別が解消されなかったことについて考察する。</p>
		6.西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化	<p>①「東方問題」とはどのような問題であるかをとらえ、その概要を理解する。</p> <p>②イギリスによるエジプト進出の全体像を把握し、その過程について理解する。</p> <p>③オスマン帝国がおこなった改革の内容を理解し、その改革がどのような結果をもたらしたのかについて考察する。</p> <p>④イギリスによるインド植民地化の全体像を把握し、その過程について考察する。</p> <p>⑤ヨーロッパ列強による東南アジア植民地化の全体像を把握し、その過程について理解する。</p>
		7.中国の開港と日本の開国	<p>①アヘン戦争・第2次アヘン戦争(アロー戦争)によって、イギリスをはじめとした欧米列強に、中国が半植民地化されていく過程を理解する。</p> <p>②19世紀半ばの中国をゆるがした太平天国の乱と、それに続く清朝の改革のあり方を考察する。</p> <p>③欧米諸国の通商要求に対する江戸幕府の対応を理解し、開国にいたる経緯を理解する。</p> <p>④ペリー来航後、朝廷・諸大名の発言力が増大し、江戸幕府の政治が動揺していった変動の様相を理解する。</p> <p>⑤開国後、日本では欧米の知識・技術の受容がいつそう進んだことを理解するとともに、日本と欧米諸国とのあいだでおこなわれた貿易の特徴を考察する。</p>
		3 明治維新と日本の立憲体制	
		1.明治維新と諸改革	<p>①大政奉還のねらいをふまえ、明治新政府の成立や戊辰戦争の展開を理解する。</p> <p>②五箇条の誓文に示された新政府の国家方針を理解し、版籍奉還と廃藩置縣の歴史的意義を考察する。</p> <p>③四民平等に向けた諸改革の内容を理解し、同じ義務をもつ「国民」がどのように形成されたかを考察する。</p> <p>④教育の近代化や西洋思想の流入をふまえ、文明開化の風潮と広まりを理解する。</p>
		7 2.明治初期の対外関係	<p>①欧米諸国との外交関係に留意しながら、日本が欧米の新技術の導入をどのように進めたかを理解する。</p> <p>②清を中心とした国際秩序を理解し、日本が清・朝鮮と取り結んだ外交関係を年表にして考察する。</p> <p>③琉球処分や北方開発などに留意しながら、日本が領土を画定させていった経緯を理解する。</p> <p>④日本人の海外渡航に注目し、海外への移民がしだいに進展していったことを理解する。</p>
		3.自由民権運動と立憲体制	<p>①自由民権運動がおこった背景および運動の高まりや担い手の広がりについて理解し、それに対する政府の対応を理解する。</p> <p>②松方財政について、新たな財政政策が取られた背景や、政策の内容を理解し、それが自由民権運動にどのような影響をあたえたかを理解する。</p> <p>③大日本帝国憲法の成立過程をふまえ、憲法の内容を理解し、その特徴を考察する。</p> <p>④大日本帝国憲法のもとで、成立した制度や諸法典の内容、その特徴を理解する。</p>
		4 帝国主義の展開とアジア	
		1.条約改正と日清戦争	<p>①19世紀末の朝鮮国内の動きに対して、日本と清がどのように関与したか、朝鮮をめぐる二国が対立するに至った過程を理解する。</p> <p>②条約改正が成功した国際的な背景を理解し、その交渉経過や、締結された条約内容を考察する。</p> <p>③日清戦争がおこった背景を理解し、戦争の推移・結果、その後の日本と清・朝鮮に対する影響を考察する。</p> <p>④日清戦争後の国内政治について、政府と政党の動きに注目しながら、その特徴を理解する。</p>
	2.日本の産業革命と教育の普及	<p>①日本の産業革命の展開や、そのなかで政府が果たした役割について理解する。</p> <p>②紡績業・製糸業の発展について理解し、その特徴を考察する。</p>	

8 3. 帝国主義と列強の展開

- ③ 重工業の発展について年表にまとめ、その特徴を考察する。
- ④ 労働運動や社会運動がおこった背景を理解し、それに対する政府の対応を考察する。
- ⑤ 1886年の学校令にもとづいた学制の内容を理解し、その特徴を考察する。
- ① 第2次産業革命の概要を年表にまとめ、それがどのように世界を変化させていったのかを理解する。
- ② 帝国主義とは、どのような状況で、どのようにして生まれたのか、その後の世界にどのような影響を与えたかを理解する。
- ③ バクス=ブリタニカの時代が終焉をむかえ、鉄鋼生産量などにおいてイギリスがアメリカやドイツに抜かれていった過程を考察する。
- ④ 後発国であるドイツが工業化などにより急速にその力を強め、イギリスやフランスをおびやかす存在となっていた過程を考察する。
- ⑤ アメリカ合衆国が工業力で世界第1位となり、帝国主義的な政策によって領土を拡大していった過程を考察する。
- ⑥ スエズ運河やパナマ運河が開通して、世界の一体化が急速に進んでいった過程を考察する。

4. 世界分割と列強の対立

- ① アフリカ大陸が、ヨーロッパ列強によって急速に植民地化されていく過程を理解する。
- ② ヨーロッパ諸国の長きにわたる植民地支配が、その後のアフリカの発展に深刻な影響をあたえたことを理解する。
- ③ 太平洋地域が、欧米列強によって分割されていく経緯を考察する。
- ④ 独立達成後のラテンアメリカ諸国で誕生した独裁政権下で軍事クーデタがあいつぎ、民衆の利害が軽視される状況であったことを理解する。
- ⑤ ドイツとイギリスの対立を軸として、国際的に複雑な同盟・協商関係が形成されていった過程を考察する。

9 5. 日露戦争とその影響

- ① 列強による中国分割や東アジア情勢の変化を年表にまとめ、日露戦争がおこった理由を理解する。
- ② 日露戦争後の国際関係の変化に留意して、日本が韓国植民地化と満洲支配を進めた経緯を考察する。
- ③ 清朝の終焉と中華民国の成立の意義を理解し、辛亥革命の流れについて考察する。
- ④ インドと東南アジアでおこった民族運動の概要を理解し、これらの民族運動が独立運動へと発展していった経緯を考察する。

近代化と現代的な諸課題
自由・制限／開発・保全

- ① 自由・制限の観点から、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、近代化と私たちが表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。
- ② 開発・保全の観点から、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、近代化と私たちが表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。

国際秩序の変化や
大衆化への問い

1 国際関係の緊密化／2 ア
メリカ合衆国とソヴィエト
連邦の台頭／3 植民地の独
立／4 大衆の政治的・経済
的・社会的地位の変化／5
生活様式の変化

- ① 国際関係の緊密化による戦争や貿易の変化に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。
- ② アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。
- ③ 第一次世界大戦後および第二次世界大戦後の国際社会における植民地の独立に対する姿勢に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。
- ④ 19世紀後半から20世紀前半に世界各地でおこった大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。
- ⑤ 第一次世界大戦後に世界各地で進んだ生活様式の変化に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。

5 第一次世界大戦と
大衆社会

1. 第一次世界大戦と
ロシア革命

- ① バルカン半島の複雑な状況を理解し、その影響と第一次世界大戦の開戦について多面的・多角的に考察する。
- ② 総力戦による社会の変化を理解する。
- ③ 日本の参戦と二十一条の要求を理解し、日中両国でどのような動きがあったのかを考察する。
- ④ 戦時外交とアメリカ合衆国の参戦による戦争の経過、および大戦による国際社会の変化を理解する。
- ⑤ ロシア革命の経緯とその思想を理解し、革命とソ連の成立が国際社会に与えた影響について考察する。
- ⑥ ロシアの内戦と、日本のシベリア出兵の意図を理解する。

10 2. 国際平和と安全保障

- ① バリ講和会議とヴェルサイユ条約の内容をとらえ、国際連盟の限界を理解する。
- ② ワシントン会議の内容を整理し、ワシントン体制で成立した国際秩序の特徴を理解する。

11	<p>3. アジア・アフリカ地域の民族運動</p> <p>4. 大衆消費社会と市民生活の変容</p> <p>5. 社会・労働運動の進展と大衆の政治参加</p> <p>6 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>1. 世界恐慌の発生と各国の対応</p> <p>2. ファシズムの台頭</p> <p>3. 日本の恐慌と満洲事変</p> <p>4. 日中戦争と国内外の動き</p> <p>5. 第二次世界大戦と太平洋戦争</p> <p>7 戦後の国際秩序と日本の改革</p> <p>1. 新たな国際秩序と冷戦の始まり</p> <p>2. アジア諸地域の独立</p>	<p>③ 1920年代のイギリス・フランス・ドイツ・イタリアの状況を理解し、各国の第一次世界大戦後の変化について考察する。</p> <p>④ 国際協調のなかで結ばれた条約の内容を理解し、国際協調のなかで模索されたものを考察する。</p> <p>① 第一次世界大戦後に民族運動が活発になった要因を理解し、その影響について考察する。</p> <p>② 東アジアにおける民族運動を理解し、中国における国民党と共産党が果たした役割を考察する。</p> <p>③ インドと東南アジアにおける民族運動を整理し、各地域における指導者の活躍を理解する。</p> <p>④ アフリカと西アジアにおける民族運動を整理し、各民族による独立や国家建設の動きを理解する。</p> <p>① アメリカで大量消費社会が成立した要因をふまえ、大量消費社会の特徴を理解する。</p> <p>② アメリカ社会の大衆化と保守化を理解し、世界におよぼした影響を考察する。</p> <p>③ 日本における新たな中間層の出現と都市化を理解し、人々の生活の変化について考察する。</p> <p>④ 日本の大衆文化と消費文化を整理し、それらの文化が人々の生活におよぼした影響を理解する。</p> <p>① 大正政変がおこった背景をとらえ、その後の政治の推移を理解する。</p> <p>② 大戦景気がおこった背景をとらえ、その特徴について理解する。</p> <p>③ 米騒動などの民衆運動が発生した背景や理由をふまえ、民衆のエネルギーが政治にどう反映されたかを考察する。</p> <p>④ 大正デモクラシー下での普通運動の背景や、労働運動、女性運動、部落解放運動など様々な社会運動の展開について、背景と関連づけながら考察する。</p> <p>① 恐慌が発生し、世界に波及した要因を追究し、その後の世界にあたえた影響を理解する。</p> <p>② 各国が金本位制を離脱したことの意味を理解し、ブロック経済形成の目的と影響を考察する。</p> <p>③ ニューディール政策の内容とその結果を理解し、アメリカの外交政策の変化を年表にまとめ、考察する。</p> <p>④ ソ連の国際社会復帰と社会主義建設に転換した経緯を理解し、世界におよぼした影響を考察する。</p> <p>① ファシズム体制の特徴をまとめ、国内外への影響を理解する。</p> <p>② ヒトラーとナチ党がドイツで政権を獲得し、独裁体制を確立した経緯とその結果を考察する。</p> <p>③ 1930年代のヨーロッパにおけるファシズムと反ファシズムの共通点と相違点を考察する。</p> <p>④ ドイツの拡張主義的な対外政策と他国の反応から、第二次世界大戦の要因を理解する。</p> <p>① 金融恐慌がおこった背景を考察し、その特徴について理解する。</p> <p>② 協調外交をすすめた背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。</p> <p>③ 満洲事変がおこった背景を理解し、その後の政治の推移を年表にまとめ考察する。</p> <p>④ 五・一五事件がおこった背景や理由をふまえ、その後の軍人の行動が、政治にどう影響したかを考察する。</p> <p>⑤ 恐慌からどのようにして回復していったか、その対処法を考察する。</p> <p>① 二・二六事件がおこった背景を考察し、その後の政治や軍部の動きの推移について理解する。</p> <p>② 日中戦争がおこった背景を理解し、その後の国際社会に与えた影響を考察する。</p> <p>③ 日本が中国に侵攻して、軍がどのような行動をとっていたか理解し、中国の人々にはどのような影響を受けたかを考察する。</p> <p>④ 三国同盟がどのようにして締結されたか理解する。また、国民生活にどのような変化・影響があったのか、新体制運動の下での背景と関連づけながら考察する。</p> <p>① 第二次世界大戦がおこった背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。</p> <p>② 日本とアメリカの対立は、どのような背景から生じたか、日米関係を基軸として考察する。</p> <p>③ ドイツ・イタリアはヨーロッパでどのような動きをしていたか、その背景や理由を考察する。</p> <p>④ 日本国内における戦時下での国民の生活や中国・朝鮮から動員された人々の生活がどのようにであったかを考察する。</p> <p>⑤ 第二次世界大戦は、戦後の世界にどのような影響を与えたかを考察する。</p> <p>① 第二次世界大戦後の国際社会が、どのようにして新たな国際秩序を構築したかを考察する。</p> <p>② アメリカとソ連の対立の背景を理解して、ヨーロッパ諸国が受けた影響を考察する。</p> <p>③ ドイツの戦後の占領分割について、連合国側とソ連のそれぞれの方法を考察する。</p> <p>④ 冷戦について、資本主義陣営と社会主義陣営にわかれた経緯を理解し、米ソが二大国となったことを理解する。</p> <p>① 中華人民共和国の成立について、年表にまとめて理解する。</p> <p>② 朝鮮戦争についての背景・過程を理解して、東アジア諸地域にあたえた影響を考察する。</p> <p>③ 東アジア・南アジアの独立について、各国別に理解し、考察する。</p> <p>④ イランの民族運動の挫折について、国王と国際石油資本との関係深化による影響を考察する。</p>
----	---	--

5.55年体制の成立

る。
⑥第二次世界大戦後のラテンアメリカで、アメリカ合衆国の影響力が強化されていく経過を理解するとともに、キューバ革命がラテンアメリカ諸国の民族運動や革命運動にあたえた影響について考察する。

①サンフランシスコ平和条約締結後、労働運動や社会運動が抑えられ、逆コースとなっていく国家運営の特徴を理解する。

② 55年体制が成立した背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。

③対米依存外交と自主外交の違いを理解し、日本の国際社会復帰への推移を考察する。 ④ベトナム

戦争の背景・経緯を年表にまとめて、その後の世界各地にあたえた影響を考察する。

⑤韓国・中国との国交正常化の経緯を理解したうえで、その後の双方の国とのあいだの課題を考察する。

6.日本の高度経済成長

①高度経済成長の契機となる特需景気を理解し、その後の経済成長がどのように展開するかを考察する。

②高度経済成長のメカニズムを整理し、産業構造の変化についても言及したうえで、その内容を理解する。

③国際競争力を強化していくために、日本経済がおこなった改革を考察する。

④消費の拡大や流通の変容について、社会の変貌とそれにもなう生活の変化を考察する。

⑤高度経済成長のひずみについて、都市の過密化・地方の過疎化や公害の問題について理解する。

7.核戦争の恐怖から軍縮へ

①キューバ革命後のキューバの政策とアメリカの対応について理解し、カストロ政権がソ連に接近した理由を考察する。

② 1960～70年代に東ヨーロッパとの緊張緩和をめざすフランスとドイツがとった外交政策について理解する。

③西ドイツのブラント首相の掲げた「東方外交」の結果について考察する。

④核兵器の開発と核軍縮の動きについて理解し、核保有国が核開発に歯止めをかけようとした理由と、実態としては核保有国が増えてしまった背景について考察する。

2 8.冷戦構造のゆらぎ

①中ソ対立が中国におよぼした影響を考察するとともに、プロレタリア文化大革命の経過とそれが中国社会にあたえた影響について理解する。

②チェコスロヴァキアで「プラハの春」と呼ばれる改革運動が発生した背景を考察するとともに、ソ連のブレジネフ政権がこれを弾圧した経過と理由について理解する。

③ベトナム戦争発生背景とその経過について理解する。

④ベトナム反戦運動や公民権運動がアメリカの政治におよぼした影響について考察する。

⑤ 1970年代の東西の緊張緩和の経過を理解し、その背景となった米ソの威信低下や、米中接近の理由について考察する。

9.世界経済の転換

① 1970年代の世界経済の転換の背景を理解する。

②アメリカの金ドル本位制の停止が、ドルショックと呼ばれるほど衝撃的であった理由を理解し、その後の世界経済にあたえた影響について考察する。

③経済成長を是とする価値観が、何によって変化していったかを考察する。

④石油危機が発生した背景と、それが世界経済にあたえた影響を理解し、人々の価値観がどのように転換したかを考察する。

⑤石油危機が西側諸国での新自由主義の台頭につながった一方で、危機の影響を受けなかったソ連では、重工業中心の産業構造を転換する機会が失われたことを理解する。

10.アジア諸地域の 経済発展と市場開放

①開発独裁と呼ばれる政治体制の特徴について理解し、その利点や問題点について考察する。

② 1960～70年代にかけてのアジアでは、強権的な政治体制のもと、外資を導入した輸出指向型工業化による経済発展が進んだことを理解する。

③文化大革命後の中国で始まった、改革開放路線について理解する。

④高度経済成長後も、日本が安定成長を維持できた理由について理解する。

⑤経済摩擦を解消するため実施した政策とその影響について考察する。

9 グローバル化する世界

1.冷戦の終結と国際情勢

①ソ連のアフガニスタン侵攻により再び東西の緊張が高まっていく経過を理解する。

②チェルノブイリ原子力発電所の事故に象徴される、ソ連の沈滞の原因を理解する。

③ゴルバチョフの「新思考外交」によって、冷戦が終結し、東欧革命が発生した経過を理解する。

④イラン＝イスラーム革命で王制が打倒される経過を理解し、新体制がめざす国家のあり方について考察する。

⑤イラン＝イスラーム革命につづいて発生したイラン＝イラク戦争、湾岸戦争の経過について理解し、それらの要因について考察する。

2.ソ連の崩壊と経済の グローバル化

①ゴルバチョフが主導したペレストロイカと呼ばれるソ連の社会主義体制の抜本的な改革の過程について理解するとともに、改革の実施にもかかわらずソ連が崩壊した理由について考察する。

②ティトー死後のユーゴスラヴィアで内戦が発生し、ユーゴスラヴィア解体にいたる経過を理解するとともに、紛争の背景となっている複雑な宗教・民族分布や紛争への国際社会の対応について考察する。

	<p>3.開発途上国の民主化と独裁政権の動揺</p> <p>3 4.地域紛争の激化</p> <p>5.国際社会のなかの日本</p> <p>10 現代の課題</p> <p>1.現代世界の諸課題</p> <p>2.現代日本の諸課題</p> <p>現代的な諸課題の形成と展望</p>	<p>③冷戦後の世界で、経済のグローバル化が進んだことで生じた社会の変化を認識し、グローバル化の前提となった、地域統合や自由貿易圏の成立と WTO の設立について理解する。</p> <p>①ラテンアメリカで民政移管が進んだ経緯を理解し、その背景を考察する。</p> <p>②東南アジア諸国での民主化の経緯や、ベトナム・インドの経済成長の背景を理解する。</p> <p>③冷戦終結前後の韓国と台湾で、民主化運動が活発化し政治体制の変化にいたる経過を理解する。また、独自の社会主義体制を維持する北朝鮮の状況について理解する。</p> <p>④文革終了後の中国で、市場経済化が進む一方、民主化運動の弾圧や少数民族への統制が国際的非難をまねいている状況を理解する。</p> <p>⑤南アフリカのアパルトヘイト政策が撤廃された経過を理解し、マンデラ大統領がめざした新しい国家のあり方について考察する。</p> <p>① 1980 年代末からの、パレスチナ問題の解決に向けての動きとその結果について理解する。</p> <p>②アメリカの中東政策への反感から、同時多発テロ事件が発生し、対テロ戦争と呼ばれる新しい戦争が始まる経緯を理解し、その影響について考察する。</p> <p>③イラク戦争の経過と結果について理解し、説明する。</p> <p>④シリア内戦の経緯を理解し、内戦の結果生じた難民問題について考察する。</p> <p>①長期安定政権が維持された 55 年体制が崩壊にいたった経緯について理解する。</p> <p>②バブル経済の崩壊以降、現在にいたる日本経済低迷の推移を説明する。</p> <p>③憲法上の制約で不可能だった自衛隊の海外派遣を認めるようになった経緯について考察する。</p> <p>①グローバル化がもたらす問題について、原因を考察し、どのように対応していけばよいかを理解する。</p> <p>②地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、その要因を理解し、どのように対応していけばよいかを考察する。</p> <p>③人権問題について、男女間の不平等、男女差別とは異なる性的差別の問題を理解し、どのように対応していけばよいかを考察する。</p> <p>④自然環境問題について、持続可能な開発という考え方を考察し、現代の世代の幸福と将来の世代の幸福をともに追求できる対応を考察する。</p> <p>⑤情報化社会の利便性と課題を理解し、情報化社会で安心・安全に生きていくための対応を考察する。</p> <p>①現代日本の課題である人口減少にどのように対応していけばよいか考察する。</p> <p>②エネルギー問題について、どのように対応していけばよいか考察する。</p> <p>③自然災害に対して、どのように対応していけばよいか考察する。</p> <p>④日本の諸課題について国内でどう対応するか、諸外国との関係でどう対応していけるかを多面的・多角的に考察する。</p> <p>①歴史的な見方や考え方を生かして、現代的な諸課題を考察する方法を理解する。</p> <p>②現代における課題の解決や、将来の構想のうえで、歴史的な見方・考え方を活用することが有効であることを理解する。</p> <p>③現代的な諸課題に対して、歴史的な問いを立て、これまでの学習をもとに考察し、表現できるようにする。</p>
<p>【年間の評価】 定期考査・提出物・授業における学習態度などを総合的に評価する。</p>		